

# ご近所の底力 地域コミュニティ活性化



常総石下母親クラブ「ほっぶんクラブ」



イトヨの里泉が森公園運営委員会

コミュニティ いばらき

女性特派員 リポート

**大好き いばらき 県民会議では、「安心・安全で快適な地域づくり」を目指し、地域コミュニティが本来持っている力(ご近所の底力)の活性化を進めています。**



笹本 悦子

## ご近所の底力活性化推進事業

地域福祉、青少年の健全育成、防犯・防災、環境づくりなど、各方面で活動の輪が広がった「ご近所の底力再生事業」に代わり、今年度は、「ご近所の底力活性化推進事業」として、他の地域のモデルとなるよう、特に先進的で独自性の高い活動を展開する三十団体に助成しました。そのなかの二団体の活動を紹介します。

### イトヨの里泉が森公園運営委員会

日立市水木町のイトヨの里泉が森公園で、住民発案による公園の管理と、希少淡水魚「イトヨ」の保護に取り組んでいるのが、イトヨの里泉が森公園運営委員会です。

泉が森の中には清水が湧き出る泉があり、戦後この湧き水を利用してニジマスの養殖が行われていました。この養殖池の周辺には、湧き水にしか生息していない淡水魚のイトヨがすんでいたのです。養殖業者の撤退後、住宅造成計画が持ち上がったため、地元のコミュニティ推進会がイトヨの保護と自然環境を守るために親水公園化の請願書を市に提出し、公園化が実現しました。

それをきっかけに、市と一緒になつて、公園の基本計画に取り組み、平成十四年の開園後は地域住民で運営委員会を結成し、管理運営を行っています。会員数は約六十人、河川

や観察池の清掃を実施するほか、「ほたるまつり」や「一日水族館」などのイベントも開催しています。

実際に見る湧き水は、想像していた以上に澄んでいました。公園内には、イトヨの観察できるデッキや、水遊び場、湧き水が飲める井戸などもあります。運営委員会代表の菊池義明さんは「運営委員は公園に近い方が多く、自分たちの公園を良くしよう、みんなに見ていただき、楽しんでもらおうと活動をしています。多くの方に、自分もやってみよう！と参加してもらいたいですね」と話していました。イトヨの里泉が森公園を活動の拠点に、交流の輪を広げている皆さんでした。



### 常総石下母親クラブ「ほっぶんクラブ」

ほっぶんクラブは、平成十七年十月に誕生した自主活動の子育て支援クラブです。発足当時、旧石下町には子育て中の親子が集まれる場所が不足していたそうです。そこで、子育て仲間づくりができる場を作ろうと、八組の親子でスタートしたのがこのクラブです。「まちの子はみんなわ

応援しよう!  
**ねりんピック  
茨城2007**  
「ペタンク」

11月10日(土)から  
13日(火)まで  
茨城県で開催



ペタンクは、6～10m先の木製の目標球(ピュット)に、金属製のボールを投げ、相手チームよりも近づけることで得点を競う競技です。ペタンクという名前は、フランス語のピエタンク(両足を地面につけて)が由来といわれています。1チーム3人で、各自が2個のボールを投げます。



実際に体験してみると、軽く投げただけで金属球が転がりました。チーム戦なのでみんなで楽しめます。笠間市高齢者クラブ連合会会長の山本さんは、「目標に近く投げられるとうれしいし、相手チームとの駆け引きが楽しい」とペタンクの魅力を教えてくださいました。取材に伺った笠間市からは、1チームが本大会に出場することが決まっています。(青木牧子)



ねりんピック茨城2007 ペタンク交流大会  
11/11(日)～12(月) 笠間市岩間総合運動公園  
ねりんピック茨城2007実行委員会事務局  
☎ 029(301)3338

代表の荻根文江さんに今後の展開を伺うと、「お父さん、お母さんだ

が子」を合言葉に、子どもの健全育成を願い、地域ぐるみで子育てができる環境づくりを目指してきました。会員数が四十組を超えた現在は、石下総合福祉センターと、畑遊びをするぽっぷん広場を拠点に活動をしています。活動日は毎週木曜日、おやつ作りのほか音楽に合わせて体を動かすリトミックや、子どものけがや病気に対処するための救急講習などを行っています。今年度は食育をテーマに、畑作り、野菜作り、土遊びを取り入れました。取材当日は、子どもたちが育て、収穫したジャガイモでおやつを作りました。「ぼくが作ったジャガイモだよ」と言いながら、うれしそうに食べる子どもたちの笑顔を見ていると、楽しい子育てができていくのだなと感心しました。

問 県生活文化課県民運動推進室  
☎ 029(224)8120  
FAX (2003)00030



けでなく、地域全体で子育てをしていきたい。会員は参加するだけでなく、自分たちがやりたいことを見つけて活動しています。その中で学んだことをそれぞれが住んでいる地域で生かし、いくつもの子育て支援グループができることが理想です」と考える必要があるのだとあらためて考える良い機会となりました。

**国内最大の文化・芸術の祭典 来年11月に本県で開催!**

全国から多数の出演者や観客が集まる、国内最大の文化・芸術の祭典「国民文化祭」が、来年十一月一日から九日までの九日間、茨城県で開催されます。国民文化祭では、県内三十四の市町村を会場地として、音楽や演劇、美術、文芸などさまざまなジャンルで、全国トップレベルのアマチュア団体や愛好家が一堂に会し、競演を繰り広げます。また、県内を文化的な特徴でエリア分けし、本県ならではの歴史資源や伝統文化などを生かした広域文化交流事業を実施し、本県の文化的な魅力を全国に向けて発信します。現在は、主催者である県、市町村、文化団体などで、開催に向け準備を進めています。各イベントの出演団体や、出品作品の募集を始めるほか、大会運営をお手伝いいただくボランティアについても公募する予定です。県を挙げてのビッグイベントに、出演者やボランティアなどさまざまな形でご参加いただけます。ようお願いたします。なお、県内各地で「プレ国民文化祭・いばらき2008」を開催しております。ぜひご家族おそろいでお出かけください。

問 国民文化祭推進室  
☎ 029(301)20030  
FAX 20040  
http://www.kokubun2008.pref.ibaraki.jp/

**県内各地でプレ国民文化祭開催中**

**9月のプレ国民文化祭**

・第4回日立・バーミングハム・フレンドシップ・キルト展(日立市教育プラザ/日立市)

**10月のプレ国民文化祭**

・漢詩大会(常陽藝文センター/水戸市)  
・第4回こども文化体験見本市(日立シビックセンター/日立市)  
・2007年度県芸術祭 10月6日(土)～12月24日(月)まで、県内各地で7部門の事業を開催します。



※その他にも、数多くのプレ国民文化祭を実施します。詳しくはホームページで。

**第23回国民文化祭・いばらき2008の概要**

※写真は、第21回国民文化祭・やまぐち2006の模様です。

大会愛称 常世の国こくぶん祭  
テーマ 常世の国 筑波嶺 翔ける 文化のいぶき  
会期 平成20年(2008年)11月1日(土)～9日(日)

総プロデューサー 池辺晋一郎(作曲家、水戸市出身)  
大会マスコット ハッスル黄門

「ねりんピック茨城2007」と共通のマスコットキャラクターです。



国民文化祭とはこんなイベントです!



オープニングフェスティバル

オーケストラ

ダンススポーツ(社交ダンス)

茶道